

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	門真市門真千石西町住宅第4期	階数	地上9F
建設地	門真市千石西町	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法22	平均居住人員	531人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年8月 予定	評価の実施日	2022年7月8日
敷地面積	6,682㎡	作成者	ジャス 楠本
建築面積	2,093㎡	確認日	2022年7月11日
延床面積	9,076㎡	確認者	ジャス 加藤

本図を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	82%
③上記+②以外の	82%
④上記+	82%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	4.0
空気質環境	3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

機能性	2.0
耐用性	3.1
対応性	2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	3.4
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.7
地域環境	2.9
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> ・まちなみ景観として、団地として統一感のあるデザインとし、団地として統一感のある沿道景観を形成します。 ・設備配管は耐用性のあるものを採用するとともに、更新性に配慮した配管ルートを確認し適切に点検口等を設けます。 		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> ・照明は、エンタラス及び廊下にティラハイクマ、メルクナーに人感センサーを用いてエネルギーの削減に配慮します。 ・内装にはF☆☆☆☆を使用し、ホルムアルデヒド対応を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備配管関係は、対応年数の長い材料を選定し、更新性に配慮します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボリューム感の軽減など地域の景観や居住性に配慮した計画とします。 ・敷地北東角に広場を設け、ベンチ、高木による日影空間を工夫し地域住民に憩いの場所を提供します。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> ・性能評価: 断熱等性能 等級3を確保します。 ・住戸は専有部が外皮に2面以上面する配置とし、採光・通風に配慮します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水型機器を使用し、水資源の保護に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境及び周辺環境に配慮した計画とします。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0051

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	門真市営門真千石西町住宅第4期新築工事 B7・B8棟					
	建設地	門真市千石西町					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		